

こんにちは 日本共産党 綾部市議会議員

このニュースは私費で発行しています

つきがしら 久美子です

大島町梶長16-12
FAX: 42-9558
携帯: 090 2285 8627
メール: kumiko@xi.boj.jp
フェイスブック: つきがしら
久美子で検索を
日本共産党綾部市議員団
ホームページ:
<https://www.jcp-chutan.jp/ayabe/>

議会での質問内容

【高齢者福祉】

- 介護保険料・利用料の非課税世帯への軽減を
- 高齢者の経済状況、特に単身女性の状況は
- 介護保険料等の負担について市の見解は
- 非課税世帯（介護保険所得段階第3段階まで）の負担軽減を
- お金の心配なく入れる介護施設を
- 高齢者を取り巻く環境と今後の動向について市の見解は
- 年金で入所可能な特養ホームの建設を

【消防】

- 「119指令センターが亀岡以北にたった一カ所は不安」という市民の声に対して
- 京都市中・北部地域消防指令事務協議会の開催と協議内容及び課題克服は進んでいるか
- 亀岡以北の指令センター共同化は広域で消防力の低下につながるのではないか

一緒に配布する議員団ニュースとあわせてお読み下さい

年金で入れる介護施設が足りません 市として建設できませんか

【搦頭の質問】

市の介護アンケート結果を見ると、高齢者の独居が全体の2割、介護者の年齢は80歳以上が3割で、自宅介護の厳しさが想定されます。

「（年金で入所できる）特別養護老人ホームになかなか入れず、自宅での生活も限界。なんとかならないか」とケアマネの訴えも聞いています。

特養ホーム入所の待機者は市内で何人おられるのか、市立としてでも建設が必要ではないでしょうか。

【答弁】

待機者は令和2年4月

時点で73名。市立の特養ホーム建設は考えていない。社会福祉法人で運営していただき、市として支援をしていく考えだ。

スタートした介護保険ですが結局、家族に負担をおわせています。市のアンケートの記述では「なんとか暮らしているが介護人も90歳の男性。いつできなくなるか不安で、毎日を祈る気持ちで暮らしている」この声に応える施策を再度求めました。

【搦頭】

「介護の社会化」として



一人暮らしの高齢者 (記事とは関係ありません)

「消防の119通報が亀岡以北一カ所になることに不安」 この声に市はどう応えますか

令和6年から、消防の119通報を北部一カ所（亀岡市以北、福知山市に設置）にする計画で、昨年（令和5年）からこれら6消防本部の協議会が設置され協議されています。

【搦頭の質問】

市民から、「大災害が起こったときに亀岡から京丹後まで広範囲の119通報を一カ所で受けることで大丈夫か」と不安の声が寄せられています。この間、協議内容は議会に知らされていません。昨年、議会で指摘した問題点は解決していますか。

【消防長の答弁】

地域が広範囲となるが、大規模災害モードや119番転送機能の導入で対応できる。指令員の非常招集は広範囲から応召するため時間がかかるが今後検討を進める。また、綾部市消防本部の人員削減はされない。

以上から対応できると思っている。

【搦頭の質問】

綾部市は上林に消防の出張所を置き広範囲な地域をカバーしています。私たちは志賀郷にも出張所設置を求めて



綾部市消防署

います。

消防組織法では、「市の消防」として自主性が保障されています。協議会の中でも、市民の不安解消、財源確保等の意見をしっかりと主張し、市民の生命と財産を守る立場を確保できることを前提に協議をしていただきます。

【消防長の答弁】

様々な意見を申し述べ検討していきたい。



総選挙

日本共産党へのご支援に感謝

さらに力を合わせ
政治を前に
今度の総選挙で、日本共産党は、比例代表で9議席、小選挙区で沖繩一区の赤嶺政賢さん、合わせて10議席を獲得しました。

同時に、議席を減らす結果となり大変残念です。ご支援いただいたみなさん

まに心から感謝し、来年の参院選挙では前進したいと決意しています。

野党の一本化
59の選挙区で勝利
政権交代に挑んだ市民
と野党の共闘が一定の効果を発揮し、野党で候補



議員団恒例の選挙翌日の街頭宣伝 (駅前にて)

京都の比例票

①自民33万8023	得票率	29.1%
②維新26万6728	得票率	23.0%
③立憲15万8980	得票率	13.7%
④共産15万2865	得票率	13.1%

綾部の比例票

①自民	5518	得票率	34.6%
②維新	2699	得票率	16.9%
③立憲	2665	得票率	16.7%
④共産	2411	得票率	15.1%
⑤公明	1375	得票率	8.6%
⑥れいわ	507	得票率	3.2%
⑦国民	474	得票率	3.0%
⑧社民	144	得票率	0.9%

者を一本化した59の選挙区で与党候補に競り勝ち、自民党の重鎮をも落選させました。
京都では6つの小選挙区中、自民党は2選挙区でしか当選できていません。3区と6区では共産党が立候補を見送り、事実上、加えて33の選挙区で当選しました。
一部のメディアは「自民勝利、維新躍進、共闘惨敗」と報じていますが事実とは違います。
全国59の小選挙区で野党が力を合わせ勝利しましたが、加えて33の選挙

区では野党統一候補が自民党候補の90%以上の得票で競り負けています。
この結果は、野党がバラバラにたたかっていたら自民党などの圧勝につながり、野党共闘がもっと力を発揮できたら選挙結果はもっと違うものになっていただと言ったことではないでしょうか。

政党的立場を、
①与党勢力 ②与党の補完勢力 ③共闘勢力の3つに分類し、4年前と比較すると、
①与党勢力は比例票を伸ばしていますが議席数では19減っています。
②与党の補完勢力はどうか。4年前には「希望の党」が出現しました。この党は「安保法制容認」「憲法9条改定」の主張を要し、野党共闘をつぶす役割を持っていました。4年前の希望、維新の合計と今回の維新を比較すると比例票も減、議席数も20減らしています。
③共闘勢力は4年前、共産、立憲、社民の合計と、今回共闘した共産、立憲、

れいわ、社民の合計では比例で246万票増やし、議席は42増やしています。客観的に見れば野党共闘が一定の成果をおさめたことが明らかです。
日本共産党が議席を減らしたことは残念ですが、この4年間、市民と野党の共闘が努力を重ねてきた成果が示されているのではないのでしょうか。
と、このように検証しています。

岸田首相は「憲法改正に精力的に取り組む」と発言。維新の会は来年の参院選までに改正案を固めて同時に国民投票の実施を」と求めています。
憲法9条守り民主主義を取り戻す政治は野党が力を合わせることに
日本共産党は引き続き野党共闘の要として力を尽くします。
「4つのチェンジ」公約
●新自由主義を終わらせ命暮らし最優先の政治
●気候危機を打開する政治
●ジェンダー平等の日本
●憲法9条を生かした平和外交

あなたの願いをお寄せください

* 記入後、切り取ってFAXしてください
42-9558 (搦頭) まで



差し支えなければ お名前・連絡先

()